

# 優良建設工事説明書

工事番号	改整第4号	工事名	配水管入替3-4工区(開削)工事	
施工場所	大栄町6丁目 地内	請負金額	22,385,000円	
工期	自 令和3年9月15日 ～ 至 令和3年12月14日			
施工業者	菘栄ライフ(株)	代表者	代表取締役 栗原 幹	
現場代理人	大浦 修平	主任(監理)技術者	大浦 修平	
【工事概要】 配水管入替工事 PEP φ150 L=176.0m 排泥管 PEP φ50 L=2.0m HVP φ50 L=1.8m 消火栓移設工事 φ75×65 1基 給水管改造工事 φ20～50…6件 試掘工 一式 既設管撤去工事 DIP φ150 L=9.3m	一次下請内容	工種	土木工事	
		〃	舗装切断工事	
		〃	交通誘導	
		〃	舗装工事	
		業者数	4社	
		下請率		
成績評定点	86点			

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
水道工事に対して地域住民からの理解及びイメージアップを図ることを目的として、オリジナルの水道工事PR横断幕を掲げ、苦情無く工事を完成させた。  
また、試掘時に地下水位が高く、水量が多かったことから、既設横断水路の下越し部付近に簡易井戸ポンプを設置し、地下水位を下げて作業を行うことで、確実に施工を行った。

【検査員】  
市内各地で配水管の更新工事を実施しているが、本工事で掲げたPR横断幕「耐震性の高い水道管を新設しています」は、水道局の重点目標に合致しており、工事や水道料金に対する理解を得やすいと考える。  
工事については埋設深の大きい区間があり湧水が多かったが、適切な対策を実施し良好な品質を確保した。

【説明を補足する写真、図面、略図】



オリジナル水道工事PR横断幕



既設横断水路下越し部付近 簡易井戸ポンプ設置状況及び配管状況

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	改整第8号	工事名	配水管入替3-8(開削)工事	
施工場所	大手町6丁目他 地内	請負金額	15,400,000円	
工期	自 令和3年10月26日 ~ 至 令和4年3月2日			
施工業者	新発田水道工事(株)	代表者	代表取締役 大倉 辰美	
現場代理人	松本 優也	主任(監理)技術者	松本 優也	
【工事概要】 ・配水管入替工事 PEPφ75・・・L=87.8m PEPφ50・・・L=113m ・消火栓接続工事 PEPφ75・・・1箇所 ・給水管改造工事 φ20・・・1箇所 φ25・・・1箇所 φ75・・・1箇所	一次下請内容	工種	土工・配管工	
		〃	舗装切断工	
		〃	交通誘導警備 2社	
		〃	本復旧工	
		業者数	5社	
		下請率		
成績評定	86点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】	本現場は新発田城前面道路に埋設されている配水管の更新工事である。現場工区内に特別養護老人ホームもあり、お城の冬季閉鎖期間に工事を行ったが多くの観光客が往来していた。その中で誘導員に現場案内図を持たせ対応していた。歴史的な建造物の新発田城内での工事にあたり事前に文化行政課と協議を行い現地立ち合いをしてもらいながら丁寧な施工をした。		
	【検査員】	観光客や特別養護老人ホームに配慮し、工期変更を行って施工した。埋蔵文化財区域内での施工区間もあり、関係機関との協議を行いながら良好な施工を行った。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



文化行政課立ち合いによる地層採取状況



新発田城給水管新設配管状況



保安誘導員による観光客・特別養護老人ホーム利用への配慮



# 優良建設工事説明書

工事番号	改整第5号	工事名	配水管入替3-5工区(開削)工事	
施工場所	荒町 地内	請負金額	56,243,000円	
工期	自 令和3年8月5日 ~ 至 令和3年12月10日			
施工業者	株馬場工務店	代表者	代表取締役 馬場 義人	
現場代理人	此村 孝之	主任(監理)技術者	此村 孝之	
【工事概要】 配水管入替工事 PEP φ 150 L=315.4m 排泥管 PEP φ 150 L=1.4m HIVP φ 150 L=2.0m PEP φ 50 L=6.3m HIVP φ 50 L=5.8m 消火栓接続工事 PEP φ 75 L=11.6m 給水管改造工事 φ 20~50...10件 試掘工 一式 既設管撤去工事 DIP φ 150 L=136.2m	一次下請内容	工種	舗装版切断 汚泥処理工事	
		"	区画線工事	
		"	不断水分岐工事	
		"	交通誘導	
		"	舗装工事	
		業者数	5社	
		下請率		
成績評定点	85点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 既設の横断水路を下越す際に水路のクラックから漏水を確認したため、漏水を最小限に抑えるためコルゲート管(φ350)を敷設し仮配水を行いながら作業を行った。 また、国道部を夜間施工で行ったため、交通量が多く見通しも悪いことから、施工箇所の前後に交通規制車を設置し工事の周知を行うことで、事故無く工事を完成させた。			
	【検査員】 交通量が多く昼間での施工は困難であったため夜間施工に変更した。適切な交通管理と安全管理により苦情なく無事故で竣工した。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



既設横断水路からの漏水を抑えるための仮排水工(コルゲート管φ350)



国道部夜間施工時の交通規制車配置状況

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	改市第1号	工事名	下水道工事(H15他)に伴う配水管入替(開削)工事	
施工場所	富塚町2丁目 地内	請負金額	11,099,000円	
工期	自 令和3年6月21日 ~ 至 令和3年9月28日			
施工業者	株加藤組	代表者	代表取締役 加藤 正人	
現場代理人	原 洋一郎	主任(監理)技術者	原 洋一郎	
【工事概要】 配水管入替工事 PEPφ150 L=86.0m (排泥)HVPφ50 L=2.3m 給水管改造工事 φ20…6件	一次下請内容	工種	舗装切断工	
		〃	土工及び配管工	
		〃	交通誘導警備業務	
		業者数	3社	
		下請率		
		成績評定点	84点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
 ・地元住民が使用するゴミステーションの床が腐食していたため、修理を行った。  
 ・公会堂のブロック塀が破損していたため、修理を行った。  
 ・工程管理を適切に行い、下水道工事着手前に工事を完成した。

【検査員】  
 地域住民の生活幹線道路での施工であったが、積極的なコミュニケーションと地域貢献を行い、短期間で良好な施工を行った。また、竣工書類も簡潔で解りやすく整理されていた。

【説明を補足する写真、図面、略図】

・地元住民が使用するゴミステーションの床が腐食していたため、修理を行った。



修理前



作業状況



修理完了

・公会堂のブロック塀が破損していたため、修理を行った。



修理前



作業状況



修理完了

・工程管理を適切に行い、下水道工事着手前に工事を完成した。



着手前



竣工

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	国補橋修第1号	工事名	萬才橋修繕工事
施工場所	上赤谷・滝谷新田 地内	請負金額	149,688,000円
工期	自 令和2年9月11日 ~ 至 令和3年11月15日		
施工業者	㈱伊藤組	代表者	代表取締役社長 伊藤 和彦
現場代理人	江川 守	主任(監理)技術者	原 敏成
【工事概要】 施工延長 L=91.5m 塗替塗装 A = 1,1300 m <sup>2</sup> ひび割れ補修工 N = 1 式 断面修復工 N = 1 式 支承防錆工 N = 1 式 支承取替工 N = 1 式 伸縮継手補修工 N = 1 式	一次下請内容	工種	橋梁補修工
		業者数	2社
		下請率	
		成績評定点	83点

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
河川等の各種制約がある中で事前調査を確実に実施し、仮設工、追加補修箇所の把握並びに補修方法について十分な検討を行い工事を進めていた。近隣住民の重要な生活道路における橋梁の修繕工事であったが、徹底した地元対応と安全管理により、苦情無く、無事故で工事を竣工させた。

【検査員】  
塗装は美観良く仕上げられている。ひび割れ補修は、施工跡が分からないほどよく仕上げられている。橋面舗装の合材は⑦密粒度アスコンでの施工であるが、施工ムラも見られず、擦り付けを入念に行ない、美観良く仕上げている。現場は作業条件にしても関係機関協議にしてみかなり苦労している。  
工事期間は明許繰越で、長期間ではあったが、良くまとめ上げたと思う。

【説明を補足する写真、図面、略図】



【竣工】上流から下流を望む



左岸側



右岸側

【仮設工】橋梁の荷重制限による分割施工



【仮設工】研削材・旧塗膜の飛散防止対策としてプラストシートを使用



【塗装工】ウエットゲージを用いて塗装塗膜厚を確認しながら施工



【塗装工】施工ロット毎に塗装膜厚を確認



【支承取替工】ジャッキアップによる支承取替において鋼材を設置(2次災害防止対策)



# 優良(建設)工事説明書

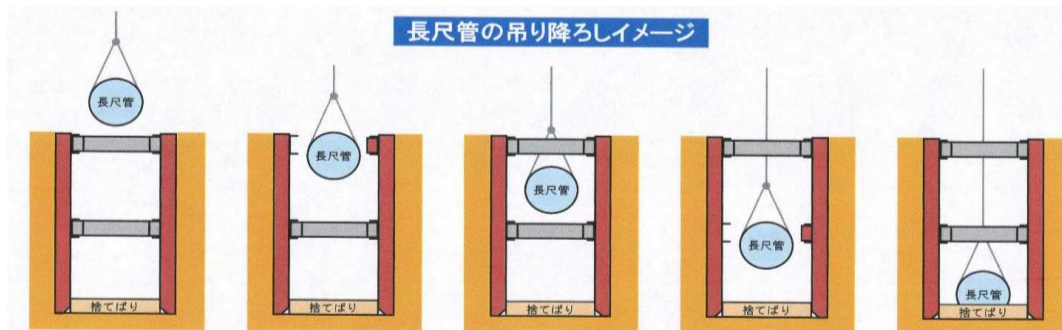
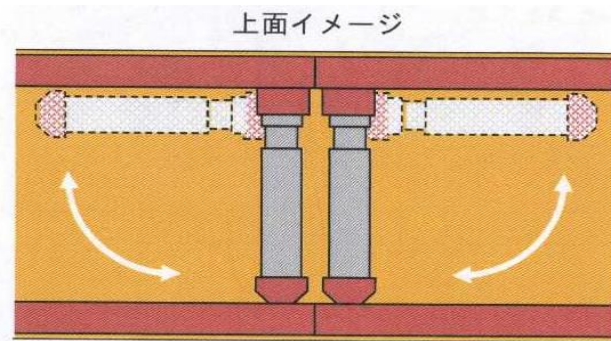
工事番号	改整第1号	工事名	配水管入替3-1工区(開削)工事
施工場所	豊町3丁目 地内	請負金額	96,272,000円
工期	自 令和3年9月14日 ~ 至 令和4年3月31日		
施工業者	新菫工業(株)	代表者	代表取締役 荒井 英之
現場代理人	島津 稔	主任(監理)技術者	島津 稔
【工事概要】 配水管入替工事 DIPNS φ400 L=450.7m (排泥)DIPNS φ150 L=2.1m, HIVP φ150 L=1.6m DIPNS φ250 L=9.4m DIPNS φ150 L=7.2m	一次下請内容	工種	配管・土工・試掘工事
		〃	仮設・試掘工事
		〃	舗装切断工事
		〃	ジメンス設置工事
		〃	不断水分岐工事
			舗装復旧工事
		業者数	8社
		下請率	
成績評定点	82点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
土留工において、アルミ製水圧シリンダ-をスイングさせる事で、土留の安全性を保持したまま水道管を水平に吊り降ろす事が可能な「パイプライン敷設用パネル土留(スイングパネル)」を使用し、大幅な作業効率の向上が図れた。  
水中ポンプの排水を一旦簡易ノッチ箱に入れ、地下水に混入した砂等を沈下させ、上部の上水のみ排水することで側溝内への砂等流入防止対策を行った。

【検査員】  
基幹配水管の更新工事であり、埋設深が大きいため湧水の多い現場であった。かつ工事の最盛期が積雪時期と重なったが、新しい工法や湧水対策、効率的な施工体制を取り入れ、良好な安全管理のもと無事故で工期内に竣工した。

【説明を補足する写真、図面、略図】



① 土留工において、アルミ製水圧シリンダ-をスイングさせる事で、土留の安全性を保持したまま水道管を水平に吊り降ろす事が可能な「パイプライン敷設用パネル土留(スイングパネル)」を使用し、大幅な作業効率の向上が図れた。



② 水中ポンプの排水を一旦簡易ノッチ箱に入れ、地下水に混入した砂等を沈下させ、上部の上水のみ排水することで側溝内への砂等流入防止対策を行った。

# 優良建設工事説明書

工事番号	下豊複第3号	工事名	豊浦北部第4処理分区(97他)管渠工事
施工場所	乙次 地内	請負金額	111,914,000円
工期	自 令和3年6月11日 ~ 至 令和4年2月15日		
施工業者	新発田建設(株)	代表者	代表取締役社長 渡辺 明紀
現場代理人	水品 政義	主任(監理)技術者	水品 政義
【工事概要】 施工延長 L=332m 推進工φ200 L=20m 推進工φ250 L=228m 開削工φ150 L=74m 1号マンホール工 N=5基 公共ます設置工 2箇所	一次下請内容	工種	推進・マンホール工
		〃	開削工
		〃	立坑築造工
			インバート工
			薬液注入工
	業者数	13社	
	下請率		
	成績評定	82点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
交通量の多い県道部での工事であったが、周辺の公共施設や隣接工事との調整を主体的に行うことにより、トラブルなく早期に工事を完成させた。また、土質状況の変更にも的確に対応し、竣工図書もわかりやすく整理されていた。

【検査員】  
工期は2月までであったが、ほぼ夏期の条件の良いときに管渠工事を完了させている。現場は、見通しの良い直線道路で、推進工を複数班体制で短期間に仕上げた。結果として、県道掘り返し期間にも、冬季間にも影響しないで施工することができ、地域住民への影響も最小限で納めた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



推進工 施工状況



開削工 施工状況



交通規制状況

# 優良建設工事説明書

工事番号	下補第3号	工事名	新発田北部処理分区(h267他)管渠工事	
施工場所	緑町3丁目 地内	請負金額	54,604,000円	
工期	自 令和3年6月23日 ～ 至 令和4年1月28日			
施工業者	株加賀田組下越営業所	代表者	所長 清水 周	
現場代理人	増田 松一	主任(監理)技術者	増田 松一	
【工事概要】 施工延長 L=216m 推進工(低耐荷力泥土圧)φ200 L=161m 開削工φ150 L=49m 2号マンホール工(抗菌)N=1基 1号マンホール工 N=1基 小口径マンホール工 N=1基 公共ます設置工 N=6箇所	一次下請内容	工種	推進・マンホール工	
		"	立坑築造工	
		"	開削工	
		"	インバート工	
		"	舗装工	
		業者数	11社	
下請率				
成績評定	成績評定		82点	

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
教育施設、商業施設の近郊であり交通量の多い幹線道路を規制する工事であったこと、関連工事との工程調整を主体的に行うことによりラブラブルなく工事を終えることができた。また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。

【検査員】  
施工管理はさすがといった監理で、微に入り細にわたり気を配っている。こういう交通量が多い交差点付近での施工は、細かい気配りが行き届かないと、苦情があったり思いがけない事故が発生する事が予想される。その中で、受注者はベストを尽くしたのではないかと。総合評価にふさわしい現場であり、その成果が表れている。

【説明を補足する写真、図面、略図】



推進状況



貫通



交通規制状況



飛散防止



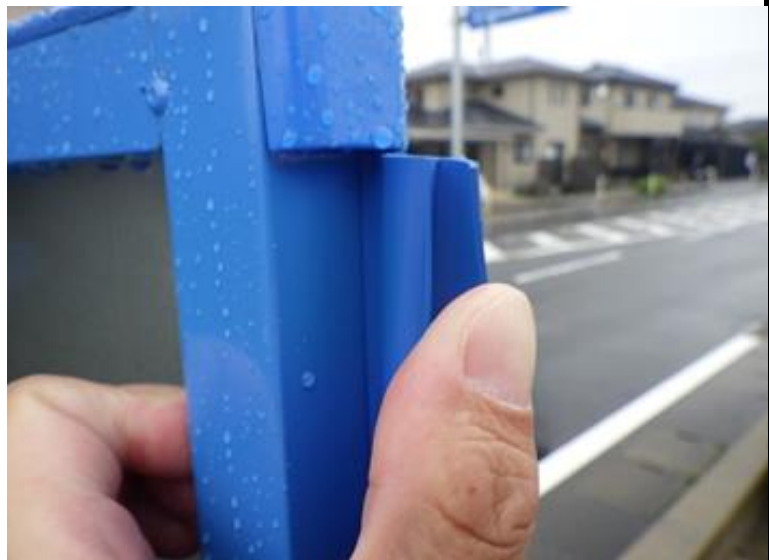
# 優良建設工事説明書

工事番号	下補第5号	工事名	新発田東部処理分区(t138他)管渠工事	
施工場所	東新町1丁目 地内	請負金額	89,012,000円	
工期	自 令和3年8月30日 ~ 至 令和4年3月10日			
施工業者	株石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎	
現場代理人	井上 正隆	主任(監理)技術者	井上 正隆	
【工事概要】 施工延長 L=390m 推進工(低耐荷力泥土圧)φ200 L=229m 開削工φ150 L=150m 2号マンホール工 N=2基 1号マンホール工 N=3基 小口径マンホール工 N=4基 公共ます設置工 N=16箇所	一次下請内容	工種	推進・マンホール・地盤改良工	
		〃	立坑築造工	
		〃	開削工	
		〃	インバート工	
		業者数	5社	
		下請率		
成績評定点	82点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 教育施設の近郊であり交通量の多い幹線道路を規制する工事であったこと、関連工事との工程調整を主体的に行うことによりトラブルなく工事を終えることができた。 また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【検査員】 下水道の隣接工区が同じ業者あったこともあり、調整等はスムーズに行っていた、東新町は下水道事業としては初めての乗り込みであった。このため、下水道について分かりやすく表示したPR看板を掲示するなど、市事業に理解を示してもらい、協力頂いたといえる。交通量の多い難易度の高い工事であったと思うが、地元マイナスイメージを与えることなく無事に工事を完成させた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



推進状況及び貫通

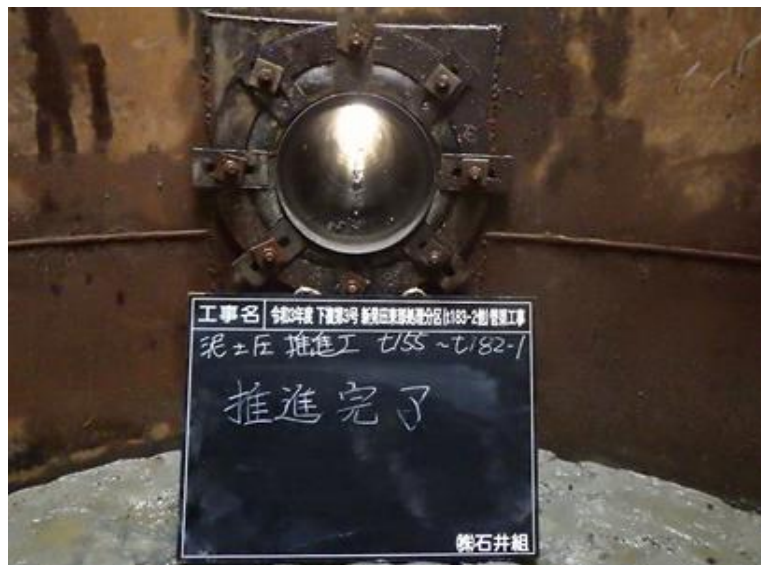
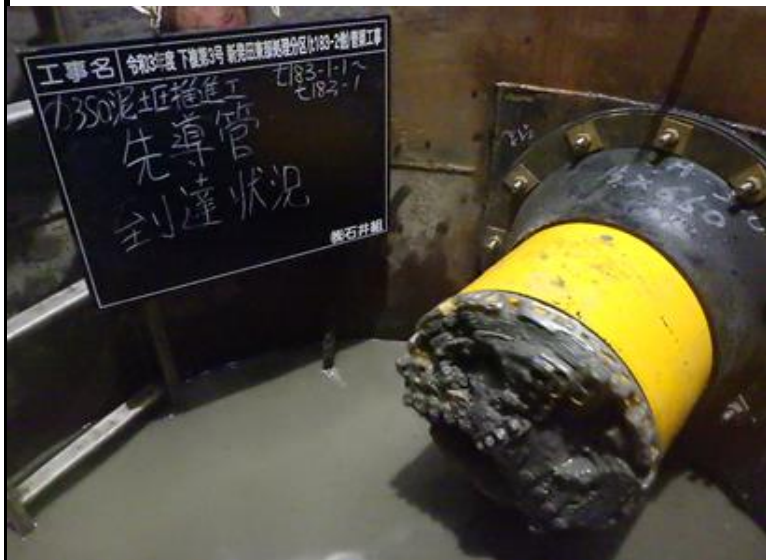


安全看板及び緩衝材設置

# 優良建設工事説明書

工事番号	下複第3号	工事名	新発田東部処理分区(t183-2他)管渠工事	
施工場所	東新町1丁目 地内	請負金額	104,918,000円	
工期	自 令和3年8月30日 ~ 至 令和4年3月25日			
施工業者	株石井組	代表者	代表取締役社長 石井 和郎	
現場代理人	小山 健二	主任(監理)技術者	小山 健二	
【工事概要】 施工延長 L=283m 推進工(低耐荷力)φ350 L=10m φ300 L=154m φ200 L=30m 開削工φ350 L=22m φ200 L=40m φ150 L=10m レジンマンホール工 3号 N=1基 1号 N=1基 マンホール工(抗菌) 2号 N=1基 1号 N=2基 1号マンホール工 N=5基	一次下請内容	工種	推進・マンホール工	
		〃	立坑築造工	
		〃	開削工	
		〃	インバート工	
		〃	舗装工	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点	82点			
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】 教育施設の近郊であり交通量の多い幹線道路を規制する工事であったこと、関連工事との工程調整を主体的に行うことによりトラブルなく工事を終えることができた。 また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。			
	【検査員】 下水道の隣接工区が同じ業者であったこともあり、調整等はスムーズに行っていた、東新町は下水道事業としては初めての乗り込みであった。このため、下水道について分かりやすく表示したPR看板を掲示するなど、市事業に理解を示してもらい、協力頂いたといえる。交通量の多い難易度の高い工事であったと思うが、地元マイナスイメージを与えることなく無事に工事を完成させた。			

【説明を補足する写真、図面、略図】



先導管到達及び貫通



開削状況



交通規制状況

# 優良建設工事説明書

工事番号	下補第4号	工事名	新発田北部処理分区(h347他)管渠工事	
施工場所	緑町2丁目 地内	請負金額	92,257,000円	
工期	自 令和3年8月10日 ~ 至 令和4年3月10日			
施工業者	(株)伊藤組	代表者	代表取締役社長 伊藤 和彦	
現場代理人	小柳 聡	主任(監理)技術者	小柳 聡	
【工事概要】 施工延長 L=390m 推進工(低耐荷力泥土圧)φ200 L=229m 開削工φ150 L=150m 2号マンホール工 N=2基 1号マンホール工 N=3基 小口径マンホール工 N=4基 公共ます設置工 N=16箇所	一次下請内容	工種	推進・マンホール・薬液注入工	
		"	立坑築造工	
		"	開削工	
		"	インバート工	
		業者数	5社	
		下請率		
成績評定	成績評定		81点	
表彰対象と評価できる内容(選定理由)	【主任監督員】	教育施設及び医療機関近郊での道路を規制する工事であったこと、関連工事との工程調整を主体的に行うことによりトラブルなく工事を終えることができた。また、品質、出来形、安全管理において秀でていたことは他の模範とするところである。		
	【検査員】	現場の状況としては、逐次主任監督員と連絡をとり、順調に工事を完了させている。推進工、開削工それぞれ丁寧な施工管理により、出来形値は規格値を満たしていた。		

【説明を補足する写真、図面、略図】



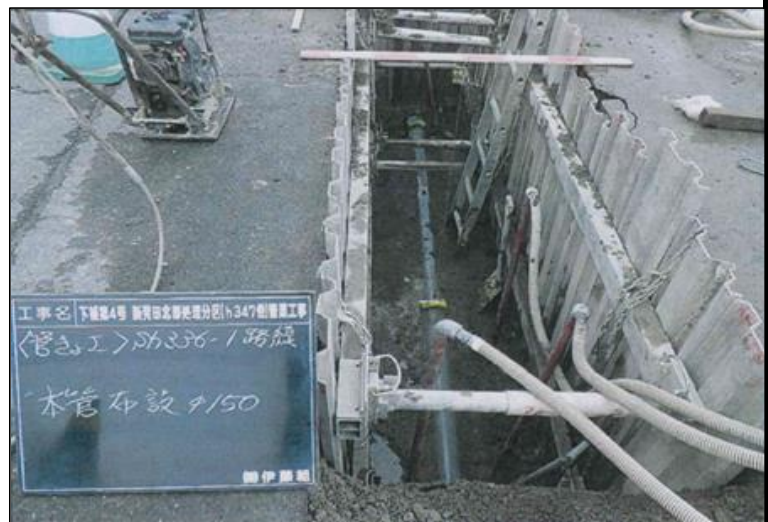
立坑築造状況



推進状況



貫通



開削状況

# 優良建設工事説明書

工事番号	特加単第3号	工事名	加治川第2処理分区(1737-1他)管渠工事	
施工場所	横岡 地内	請負金額	33,407,000円	
工期	自 令和3年8月27日 ~ 至 令和4年3月18日			
施工業者	(有)島津管工	代表者	代表取締役 島津 郁晃	
現場代理人	田中 博志	主任(監理)技術者	田中 博志	
【工事概要】 施工延長 L=547m  開削工φ75(圧送管) L=545m 1号マンホール(空気弁室) 2基 1号マンホール(防食型) 1基	一次下請内容	工種	家屋調査	
		"	舗装本復旧工	
		"	舗装版切断工	
		"	インバート工	
		"	管内調査工	
		"	交通誘導	
		業者数	6社	
下請率				
成績評定点		81点		

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
当該工事交通規制区間内には運送会社及び工場があり、それら企業関連車両は通行させながらの現場条件であった。関係者との規制に関する日々の打合せ内容を現場に携わる者すべてに周知し、安全管理を確実に行った。圧送管布設区間については、施工全区間以外にも一定区間完了ごとに管内の気密試験を実施し、徹底した施工・品質管理を行った。

【検査員】  
当初計画において、既設のマンホールに接続する予定であったが、現地の配管状況により、接続が不可能であった。これに代替となる、提案をし、コストをかけず完成させたことは評価に値する。道の駅加治川や、近接工事の業者と工程調整を上手く行い、無事に工事を完成させた。

【説明を補足する写真、図面、略図】



通過交通車両は通行止め、企業関連車両は通行させるための誘導員以外の工夫



圧送管布設完了区間の定期的な気密試験による施工及び品質管理

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	改整第6号	工事名	配水管入替3-6(開削)工事
施工場所	大手町2丁目他 地内	請負金額	46,046,000 円
工期	自 令和3年5月13日 ~ 至 令和3年10月19日		
施工業者	(株) 関川水道	代表者	代表取締役 関川 良平
現場代理人	渡邊 和孝	主任(監理)技術者	渡邊 和孝
【工事概要】 配水管入替工事 ・①~④PEPφ100 L=443.5m+排泥 PEPφ75 L=10.1m ・PEPφ75 L=7.6m 防火水槽接続・消火栓移設工事 ・PEPφ50 L=2.7m ・地下式単口消火栓 φ75×65 2ヶ所 給水管改造工事	一次下請内容	工種	配水管布設工
		〃	舗装復旧工
		〃	舗装切断工
		〃	交通誘導警備 2社
		〃	区画線工
業者数	6社		
下請率			
成績評定点	80点		

**【主任監督員】**

住宅街の込み入った道路での施工であったが、地域住民への適切な配慮と良好なコミュニケーションにより、苦情もなく良好

**【説明を補足する写真、図面、略図】**



・近隣住民には車両通行で大きく迷惑をお掛けしてしまう状況だったので、空地を数か所借地し仮設駐車場を設置し工事中でも自由に車両を使用できるようにした。



・施工付近に医院が3件あるため、拡医院の名前を入れた迂回のお知らせ看板を作成・配置し誘導員とあわせて周知を行った結果、医院及び患者からの苦情はなかった。

# 優良(建設)工事説明書

工事番号	改整第16号	工事名	配水管入替3-16工区(開削)工事	
施工場所	緑町1丁目ほか 地内	請負金額	10,769,000円	
工期	自 令和3年8月4日 ~ 至 令和3年12月1日			
施工業者	株加藤組	代表者	代表取締役 加藤 正人	
現場代理人	原 洋一郎	主任(監理)技術者	原 洋一郎	
【工事概要】 配水管入替工事 ①PEPφ75 L=72.9m ②~④PEPφ50 L=52.9m, HVPφ50 L=1.0m (排泥)PEPφ50 L=5.4m, HVPφ50 L=3.2m 給水管改造工事 φ20…6件, φ25…2件	一次下請内容	工種	舗装切断工	
		〃	エアバック止水工事	
		〃	不断水工事	
		〃	交通誘導業務	
		業者数	4社	
		下請率		
成績評定点	80点			

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】  
・車両通行止めでの工事となることから、近隣住民の車両移動の負担を軽減するため、仮設駐車場を複数箇所設置した。  
・次年度施工する下水道工事を考慮し、配水管布設位置を協議決定し、工事を完成した。  
・近隣住民からコンクリート舗装が破損しているとの相談を受け、修理を行った。

【検査員】  
地域住民や関係部署との良好なコミュニケーションにより、苦情もなく短期間で良好な施工を行った。

【説明を補足する写真、図面、略図】

・車両通行止めでの工事となることから、近隣住民の車両移動の負担を軽減するため、仮設駐車場を複数箇所設置した。

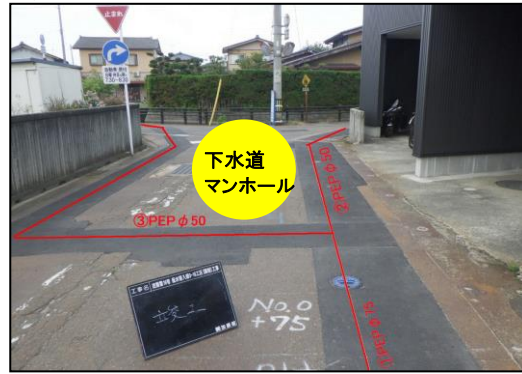


仮設駐車場

・次年度施工する下水道工事を考慮し、配水管布設位置を協議決定し、工事を完成した。



着手前



竣工

・近隣住民からコンクリート舗装が破損しているとの相談を受け、修理を行った。



修理前



作業状況



修理完了

## 優良(建設)工事説明書

工事番号	改県第3号	工事名	県道改良工事に伴う配水管入替(開削)工事	
施工場所	滝 地内	請負金額	7,480,000円	
工 期	自 令和3年8月5日 ~ 至 令和3年11月12日			
施工業者	(株)ハセガワ	代表者	代表取締役 長谷川 新一	
現場代理人	阿部 直木	主任(監理)技術者	阿部 直木	
【工事概要】 配水管入替工事 DIP φ150(K) L=20.8m (排泥)DIP φ75(K) L=2.1m , HIVP φ75 L=2.6m	一次下請内容	工 種	不断水連絡工事	
		"	止水工事	
		"	舗装切断工事	
		"	交通誘導警備	
		"		
		業者数	4社	
		下請率		
成績評定点	80点			

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

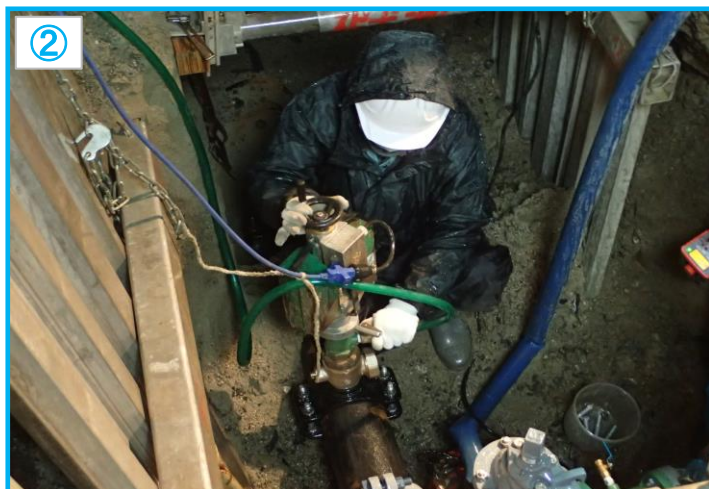
【主任監督員】  
 県道改良工事発注者である県及び施工業者と積極的に工程調整や交通規制等の打ち合わせを行い、互いの工事に支障とならないように施工を行った。  
 濁水が発生しやすい地区の為、水利用少ない夜間に既設管接続作業を行い濁水苦情がなく、良好な施工が出来た。

【検査員】  
 道路改良工事との輻輳工程、交通確保、濁水発生抑制等課題の多い工事であったが、積極的な工程調整、騒音を抑えながらの夜間工事で、苦情もなく安全に良好な施工を行った。

【説明を補足する写真、図面、略図】



① 県道改良工事発注者である県及び施工業者と積極的に工程調整や交通規制等の打ち合わせを行い、互いの工事に支障とならないように施工を行った。



② 濁水が発生しやすい地区の為、水利用少ない夜間に既設管接続作業を行い濁水苦情がなく、良好な施工が出来た。

# 優良建設工事説明書

工事番号	下紫単第3号	工事名	紫雲寺藤塚浜処理分区(622-2他)管渠工事	
施工場所	藤塚浜 地内	請負金額	27,445,000円	
工期	自 令和3年10月7日 ～ 至 令和4年3月10日			
施工業者	株加藤組	代表者	代表取締役 加藤 正人	
現場代理人	小林 豊	主任(監理)技術者	小林 豊	
【工事概要】 施工延長 L=478m 開削工φ150 L=470m 1号マンホール工 8基 小口径マンホール工 3基 公共ます設置工 8箇所 (内 取付管管止 1箇所)	一次下請内容	工種	家屋調査	
		"	舗装版切断	
		"	インバート工	
		"	管内調査	
		"	交通誘導	
		業者数	5社	
		下請率		
成績評定点		80		

**表彰対象と評価できる内容(選定理由)**

【主任監督員】  
各家庭への公共ます設置に関して、今回工事での設置の有無や設置場所の協議の中で個々の疑問点や心配事など時間を掛けて十分な協議を行い、今回工事での設置に同意を得るために非常に親身になった地元対応で工事に取り組んだ事は評価できる。  
隣接する関連工事との定期的な打合せを実施し、沿線住民の交通規制に関する負担を軽減するための日々の施工範囲の調整等に積極的に取り組んだ事は評価できる。

【検査員】  
適切な施工管理を行っている。路床・路盤は丁寧に締固めを行っている為、現場密度試験の数値は99%付近の数値を示している箇所もある。地形的に高低差がかなりある箇所もあり、取付管の施工で、苦勞したと思われるが、家屋や塀等に影響与えることなく完成した点は評価に値する。

【説明を補足する写真、図面、略図】



・様々な宅地条件の中での公共ます設置も個々との信頼関係を築き施工した。



関連工事との協議を定期的に行い、協議内容を現場に携わる者すべてに周知の徹底を図り、安全管理等を確実に実施した。